

中国研究科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

【修士課程】

中国研究科修士課程では、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで記述しているように中国研究に特化しており、学際的に中国研究を行い、また中国研究の各分野における先行研究を踏まえた学位授与方針を採っています。専攻分野における研究能力を有すると認められる者及び高度な知識を必要とする高度職業人に学位を授与します。

修士課程においては、愛知大学学位規程に基づき、修士課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。修士学位論文においては、先行研究を批判的に整理し、新たな開拓すべき研究分野であることを、十分な資料批判の上に立った資料解析と論理展開が説得的になされていることが必要です。

また、本研究科の学位授与の特色としてカリキュラム・ポリシーに記述しているようなデュアルディグリー・プログラムがあり、それに基づいて日中双方の学位授与が行われています。

【博士後期課程】

中国研究科博士後期課程では、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで記述しているように中国研究に特化しており、学際的に中国研究を行い、また中国研究の各分野における先行研究を踏まえた学位授与方針を採っています。専攻分野について研究者として自立して研究活動を行う能力を有すると認められる者に学位を授与します。

博士課程においては、愛知大学学位規程に基づき、博士課程に3年以上在学し、12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。

博士学位論文においては、修士学位論文で記述した内容を展開させ、研究として一つの体系をなしていることが肝要です。

また、本研究科の学位授与の特色としてカリキュラム・ポリシーに記述しているようなデュアルディグリー・プログラムがあり、それに基づいて日中双方の学位授与が行われています。